

令和元年度 介護ロボット導入効果

番号	法人名	導入機器種類及び名称	導入台数	導入効果	活用課題
1	社会福祉法人睦会 やすらぎの園	入浴支援機器 リフト付きシャワーキャリア-LS-310 (入浴用リフトキャリア)	4	<ul style="list-style-type: none"> ・導入前は機器の不足から、無理して個浴で対応することがあったため腰への負担が大きかった ・導入後のキャリアの使用率は全体の約8割であり、職員へアンケートを行ったところ、腰痛予防つなぐとの回答が約70%を占めた。 ・導入前と比較し、事故件数は約半分になった（事故の大半は浴槽への出入りの際、抱えたことによって内出血や外出血の要因になること） 	職員の使用にあたって苦勞することはない
2	社会福祉法人睦会 柴やすらぎの園	入浴支援機器 Wellsリフトキャリア (入浴用リフトキャリア)	1	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、入居定員29名のうち、6名が使用 ・導入当初は恐怖心からシャワー浴を希望される入居者が多くいたが、キャリア使用にて入浴したところ、移乗時の不安なく安心して入浴できたと喜ばれた ・職員へアンケートを行ったところ、腰痛予防つなぐとの回答が約70%を占めた。 	既存の個浴設備への設置により、キャリアの最低地上高を考慮した浴槽ではないため、体格の大きい入居者は上半身が出てしまう
3	医療法人百藤会 インターコート藤	見守り機器 眠りSCAN (見守りセンサー)	15	<ul style="list-style-type: none"> ・新規利用者は講堂予測がつかず、スタッフも心身ともに負担が大きかったが、導入後は行動パターンの把握が約半分の日数で行えるようになった ・パソコン上に心拍や呼吸が表示されるため、状況変化の早期発見ができスタッフの精神的負担の軽減になっている ・導入前は、夜間の安否確認等の訪室のため、利用者が起きてしまうこともあったが、導入後は無駄な訪室の回数を減らすことができ、スタッフの精神的負担軽減・利用者の睡眠の妨げの軽減ができた。 	導入に際しては見方はわかりやすく、スムーズに理解してもらうことができた。しかし、利用者氏名の登録や詳細な設定については難しかった 長期的に睡眠日誌や呼吸日誌を作成していくことにより、今以上に利用者様の生活パターンの把握や体調不良の早期対応が行えるようになると、より一層スタッフの心身の負担の軽減につながると感じている
4	社会福祉法人恵仁福祉協会 アザレアンさなだ	見守り機器 眠りSCAN (見守りセンサー)	5	<ul style="list-style-type: none"> ・夜間20時～7時まで時間を決め使用している ・当初の目標としては、夜間のオムツ外しからの全更衣を防ぐことを目標としたが、失禁・更衣の回数としては減少しなかった。転倒のリスクがある方は覚醒時や離床時に素早く訪室でき、排せつ介助がスムーズになった。 ・眠りスキャン導入により、覚醒、離床時にセンサーが感知することで精神的負担は軽減された部分は大きい。また睡眠の状態が職員の感覚ではなくデータで出るので、眠剤の変更や検討に使用でき、目標としたことではないが他の効果も生まれた。 	職員の中にはセンサーマット同様に考え使用しようとする職員もいる。 眠りの浅い利用者に対して日中の活動まで対応することができていない。
4	医療法人社団敬仁会 まほろばの郷	見守り機器 パラマウントベッドエヌバシア シリーズKA-N1410R (センサー付きベッド)	9	<ul style="list-style-type: none"> ・新規入所者の方のトイレ覚醒のパターンを把握する上でケアに役立ち、カンファレンスにより対象者をかえて事故防止に取り組めている ・導入前と比較し、1～3月のベットからの転落・転倒のアクシデント数が9件⇒2件に減少。インシデント数は11件⇒26件となった (アクシデント数は減少し、インシデント扱いが増えている) ・職員アンケートでは、負担減というより、アクシデントにならないでよかったとの声が多い 	まだ試行錯誤段階であるが、それぞれの職種の視点、それぞれ関わっている委員会の感じ方を定期的にまとめ、その都度活用方法を検討している